

S-Stage N15 ボアアップキット 181cc 取扱説明書

製品番号 01-05-0386

適応車種	モンキー 125 (JB02-1000001 ~)
	モンキー 125 タイモデル (MLHJB02)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

使用燃料についてのご注意

当製品はノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用された場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。製品取り付け前にフューエルタンクに残っていたガソリンにもご注意ください。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

FI コントローラー及びフューエルインジェクタについてのご注意

当製品を取り付け、ノーマル ECU のままで使用すると、エンジンが重大な故障を起こす可能性があります。

弊社製 FI コントローラー “FI コン TYPE-e” を必ず同時装着して下さい。

モンキー 125 JB02-1000001 ~ / タイモデル (MLHJB02) 用 FI コン TYPE-e.....05-04-0104

弊社製フューエルインジェクタを必ず同時装着して下さい。

大容量フューエルインジェクタ (G-1)00-00-0487

デコンプについて

付属のカムシャフトは、デコンプ部品を取り付ける事が出来ません。

バッテリーのコンディションによっては、セルモーターの回転が重くなる場合があります。バッテリーのコンディションに注意して下さい。

スパークプラグについてのご注意

スパークプラグは必ず CPR7EA-9 (NGK) 又は U22EPR-9 (DENSO) 相当に交換して下さい。その後、個々に合った番番を決定して下さい。

クランクシャフトについて

弊社製ボアアップキットの装着により、エンジン出力、トルクが大幅にアップする為、クランクシャフトには、ねじれやたわみ等の負担が増加します。

弊社では、クランクシャフトの負担を軽減させる為、クランクシャフトサポートアダプターの同時装着をお勧めします。

クランクシャフトサポートアダプターは、クランクシャフトフライホイール側末端にボールベアリングによる支持を追加する事により、ねじれやたわみ等を抑え、クランクシャフトの耐久性を高めます。

クランクシャフトサポートアダプター 01-10-0138

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎競技専用部品につき、一般公道では使用出来ません。道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。

◎モンキー 125 タイモデルは、タイ国内において予期せず仕様が変更された場合、この製品が取り付け出来ない恐れがあります。予めご了承下さい。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は上記適合車種の専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎当製品の取り付けには上記適合車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。

◎取り付けの際には工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。

◎この取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。

取り付けに自信の無い方や、取り付けに必要な工具等をお持ちで無い場合は取り付け作業は行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。

◎必ず慣らし運転を行って下さい。

◎当製品を取り付けると出力アップに伴い発熱量も増加します。長時間の高負荷走行にはオイルクーラーキットの装着をお勧め致します。

◎オイルクーラーキット又はオイル取り出しのバンジョーボルト、及びバンジョーは弊社製の GROM/ モンキー 125 専用品が必要です。

他社製品や別車種用品との組み合わせは絶対に行わないで下さい。

◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキン類の一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず必ず新品のものをご使用下さい。

◎運転者の体重や走行状況により、2次減速比の変更が必要になる場合があります。

◎ガイドローラー部のシーリングワッシャは同梱させておりません。別途お買い求め頂く必要があります。特に損傷が激しい物は再使用せず新品のシーリングワッシャをご使用下さい。

ホンダ純正品番 : 90475-KWB-600

特徴

○ノーマルシリンダーヘッドを使用し、ボアアップするキットです。

○ピストン径をφ 52.4mm からφ 63mm にボアアップし排気量を 180.5cc に、圧縮比を 9.3 : 1 から 11 : 1 にアップさせています。

○シリンダーに耐久性、気密性、放熱性に優れたオールアルミセラミックメッキシリンダーを使用。オイル通路取り出しボスを設け、オイルクーラーキットに対応する高機能なシリンダーです。

又、オイルプラグボルトには M5 ネジ穴を設けていますので、弊社製 M5 温度センサーの取り付けが可能です。

○弊社製エキゾーストマフラーとの組み合わせにより更なるパワーアップが望めます。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 競技専用部品につき、一般公道では使用出来ません。
(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)
- 作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)*シリンダーヘッドは、必ず規定トルクで増し締めを行ってください。
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。
また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)
- ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

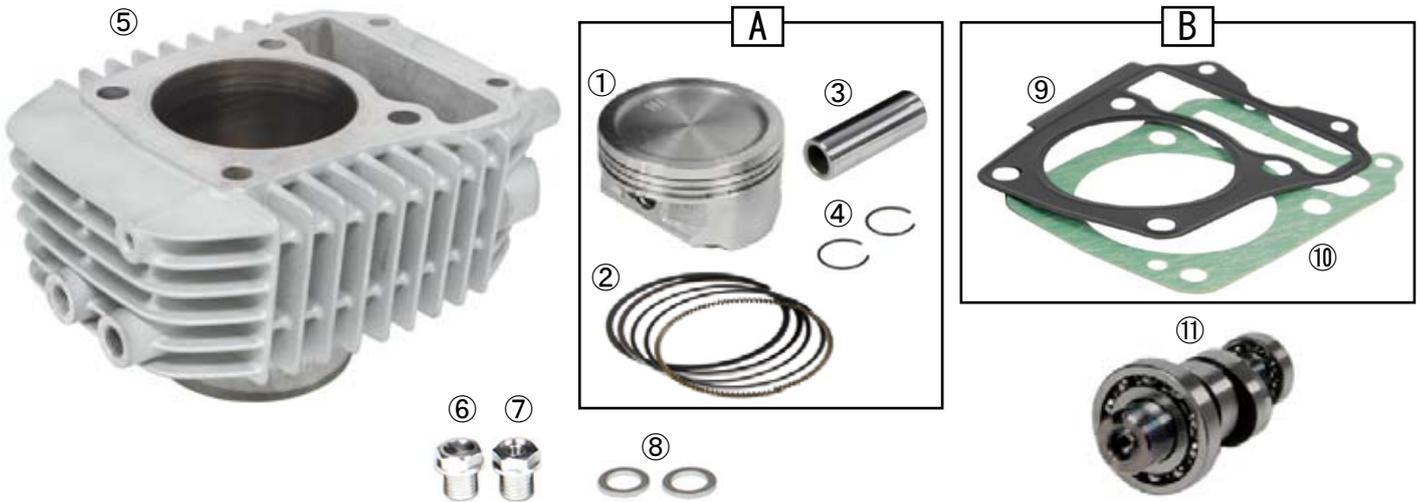
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象なりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	ピストン 63mm	1	13101-K26-T72
2	ピストンリングセット 63mm	1	01-15-0106
3	ピストンピン 13x38.5	1	00-01-0198 (サークリップ付)
4	ピストンピンサークリップ 13x1	2	00-01-0003 (6ヶ入り)
5	シリンダー 63mm	1	01-01-0119
6	オイルプラグボルト	1	00-07-0072 (シーリングワッシャ付)
7	オイルプラグボルト (M5 穴付)	1	00-07-0090 (シーリングワッシャ付)
8	アルミシーリングワッシャ 10mm	2	00-07-0010 (10ヶ入り)
9	シリンダーヘッドガスケット 64mm	1	12251-KYZ-T00
10	シリンダーガスケット	1	00-01-0370
11	カムシャフト COMP.	1	01-08-0179

記号	部品名	リペア品番
A	ピストンキット	01-02-0164
B	ガスケットキット	01-13-0121

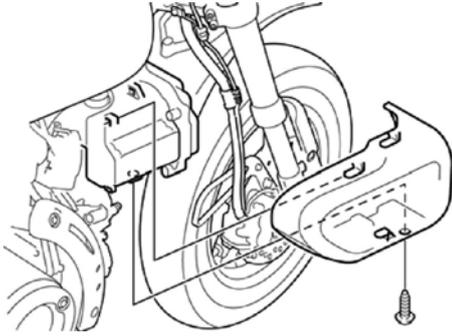
※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

・水平な場所でメンテナンススタンドにて車両をしっかりと安定させる。

●外装部品の取り外し

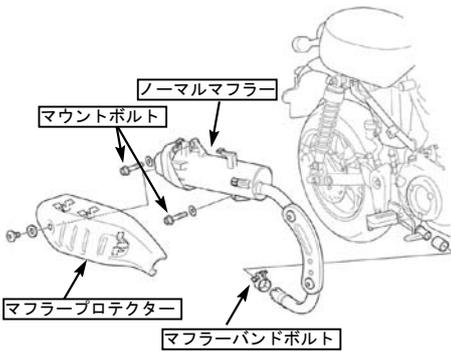
・スクリーを取り外し、左右のガーニッシュを取り外す。



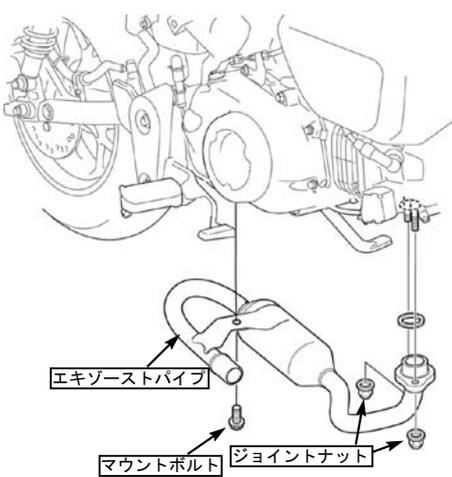
●(ノーマル)エキゾーストマフラーの取り外し

※エキゾーストマフラーが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取り扱い説明書に従う事。

・マフラープロテクターを外し、マフラーバンドボルトを緩め、サイレンサー側のマウントボルト2本を取り外してノーマルマフラーを取り外す。

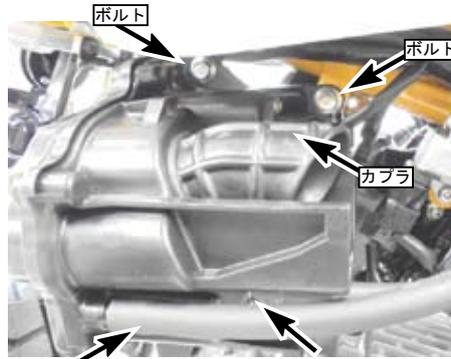


・マウントボルトとジョイントナット2個を取り外してエキゾーストパイプを取り外す。

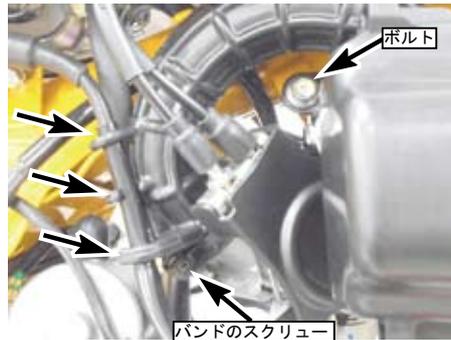


●エアクリーナーケース、インレットパイプ/スロットルボディの取り外し

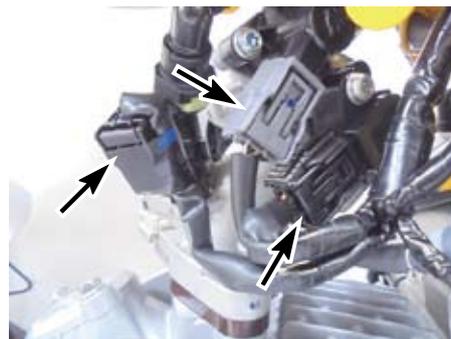
・エアクリーナーケースの吸気温センサーのカプラの接続を外す(タイモデル車両は除く)。エアクリーナーケースからクランクケースブリーザホースとフューエルブリーザホースの接続を外す。ボルト2本を取り外す。



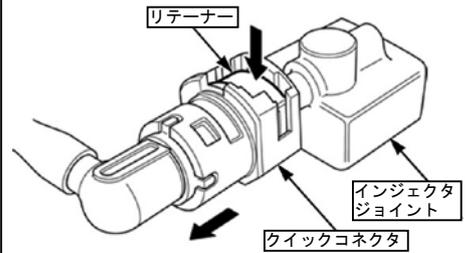
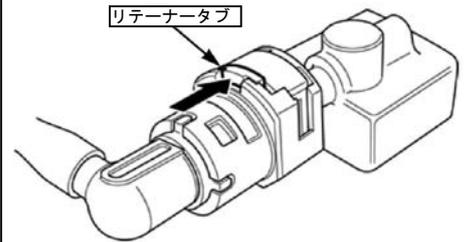
・コネクティングチューブからハイテンションコードを外す。コネクティングチューブバンドのスクリーを緩める。ボルトを取り外す。コネクティングチューブをスロットルボディから抜き取り、グロメットからエアクリーナーケースのボスを外し、エアクリーナーケースを取り外す。



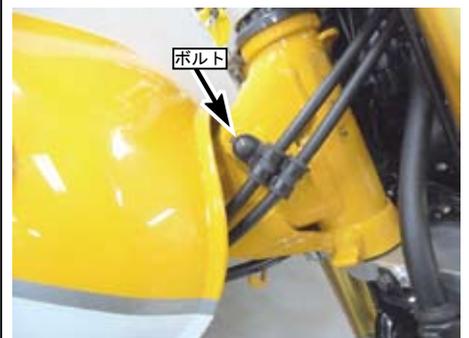
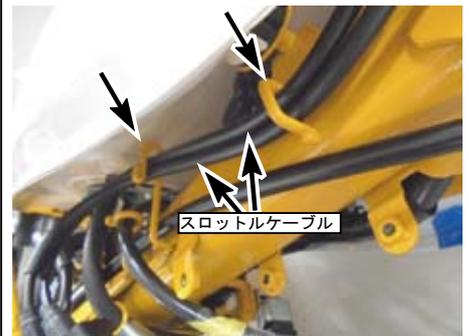
・スロットル開度センサー3Pカブラ、インジェクター2Pカブラ、ソレノイド2Pカブラ(タイモデルは除く)の接続を外す。インレットパイプのホースの接続を外す。



・以下に従い、フューエルホースのクイックコネクタの接続をインジェクタジョイントから外す。
○クイックコネクタの周りをウエスなどで覆う。
○リテーナタブをジョイント方向に押しながらリテーナを押し下げ、クイックコネクタをインジェクタジョイントから抜き取る。



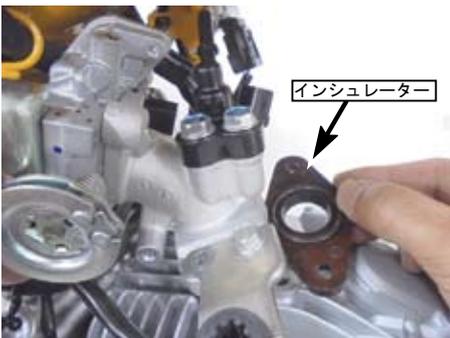
・フレームのガイドからスロットルケーブルを外す。スロットルケーブルをフレームに止めているボルトを取り外す。



- ・ボルトワッシャを取り外し、スロットルドラムカバーを取り外す。



- ・インレットパイプのボルト2本を取り外し、インシュレーターを取り出す。インシュレーター両面の0リング2個の紛失に注意する事。

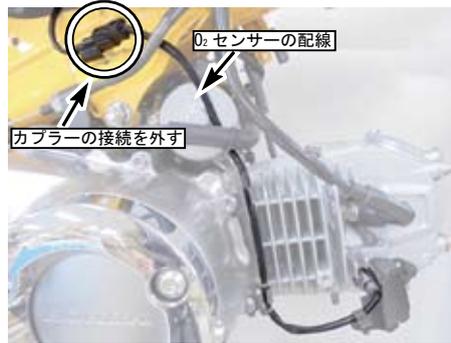


- ・インレットパイプ/スロットルボディをスロットルケーブルが繋がったまま、スロットルケーブルに負担が掛からないようにシート等に置いておく。



●O₂ センサーの接続を外す

- ※O₂ センサーは衝撃に弱いので取り扱いに注意。衝撃を与えた場合は新品に交換する事。
- ・O₂ センサーの配線のカブラの接続を外し、配線を各クランプから取り外す。

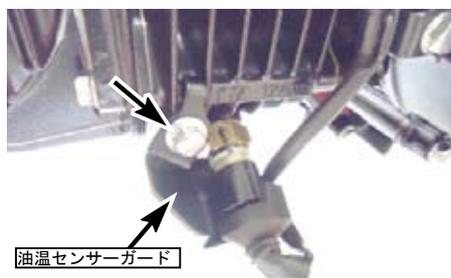


●シリンダーヘッドの取り外し

- ・スパークプラグキャップを取り外し、スパークプラグを取り外す。



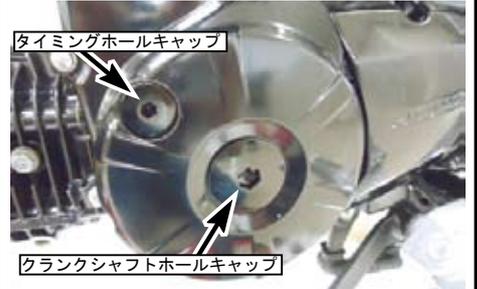
- ・ボルトを取り外し、シリンダーの油温センサーガードを外す。



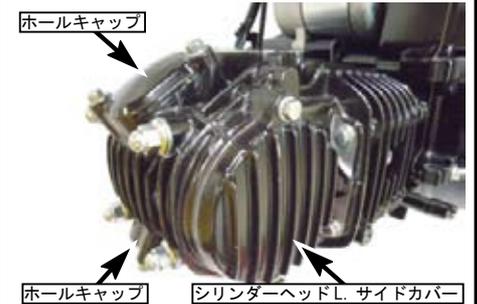
- ・油温センサーのカブラの接続を外す。油温センサー及びシーリングワッシャを取り外す。



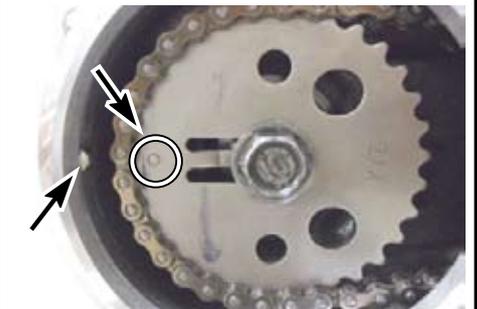
- ・タイミングホールキャップ及びクランクシャフトホールキャップを取り外す。



- ・ボルト2本をそれぞれ取り外しシリンダーヘッドL、サイドカバー/0リング、インテーク側、エキゾースト側のホールキャップ/0リングを取り外す。



- ・クランクシャフトを反時計方向に回し、カムスプロケットの“0”マークをシリンダーヘッドの突起に合わせる。



- ・オイルフィルターボルトとシーリングワッシャを取り外す。

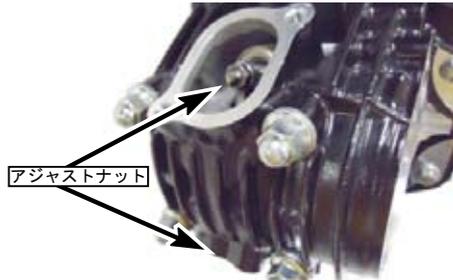


- ・ユニバーサルホルダーにてカムスプロケットを固定し、カムスプロケットボルトを取り外し、カムスプロケットを取り外す。

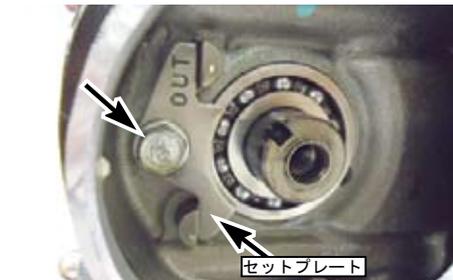


■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

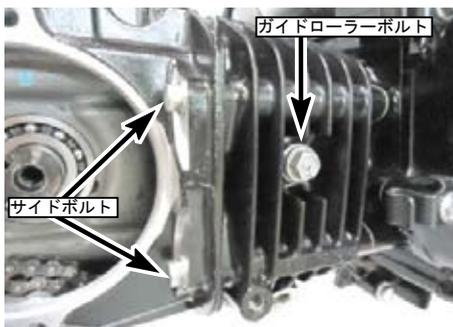
- ・インテーク、エキゾースト共にロッカーアームのアジャストナットを緩め、アジャストスクリューを緩めておく。



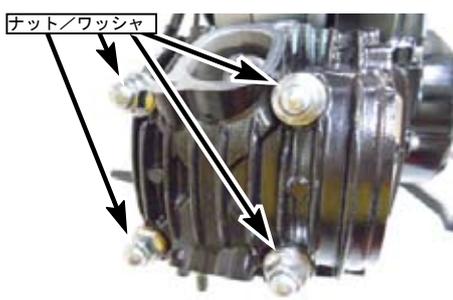
- ・セットプレートのボルトを緩めておく。



- ・シリンダーのガイドローラーボルトを緩めておく。シリンダーヘッドのサイドボルト2本を取り外す。



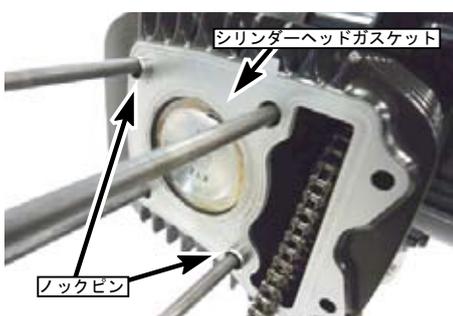
- ・シリンダーヘッドナット4個を対角に数回に分けて緩め、ワッシャ4個と共に取り外す。



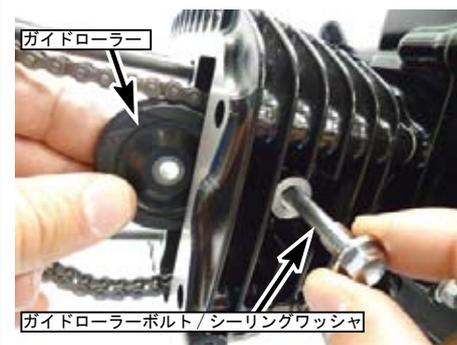
- ・シリンダーヘッドを取り外す。

●シリンダー、ピストンの取り外し

- ・シリンダーヘッドガスケットとノックピン2個を取り外す。



- ・シリンダーのガイドローラーボルト / シーリングワッシャを取り外し、ガイドローラーを取り出す。



- ・シリンダーを取り外す。
※クランクケース内に部品が入り込まないようにクランクケース開口部をウエス等でふさいでおく。
- ・ピストンピンサークリップの片側を外し、ピストンピンを外し、ピストンを取り外す。



- ・シリンダーガスケットとノックピン2個を取り外す。クランクケースにシリンダーガスケットがこびり付いている場合はスクレイパーにて剥がす。



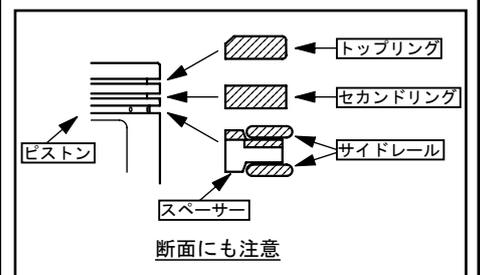
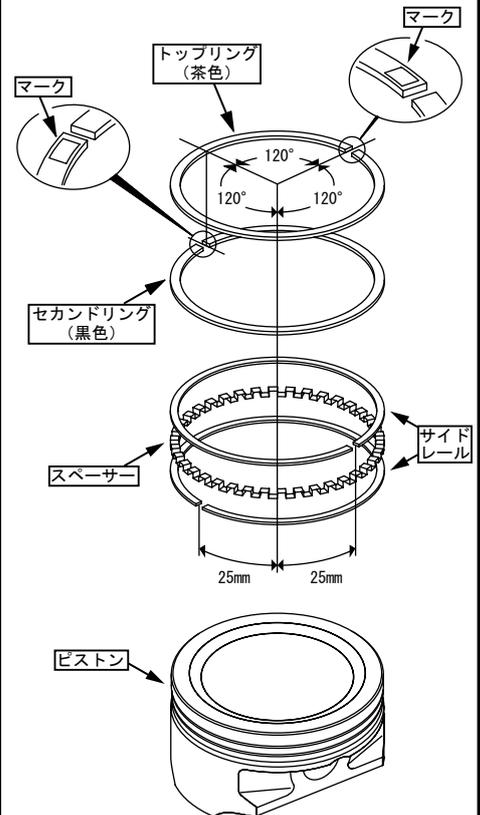
●シリンダーの干渉の確認

- ※クランクケースの個体差により、シリンダーのクランクケース挿入部(スカート部)とクランクケースが干渉する場合があります。干渉したまま使用すると、エンジントラブルの原因となるので、必ず確認する事。

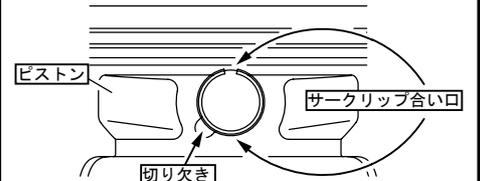
- ・ノックピン2個を使用し、付属のシリンダーのみをクランクケースに取り付け、シリンダースカートとクランクケースの干渉の確認を行う。

●ピストンの取り付け

- ・付属のピストンのピストンリング溝をエアブローし、各ピストンリングを取り付ける。
※TOPリング及び2NDリングはマークを上にして取り付ける。
※ピストン及びピストンリングを傷つけたり、破損させない事。
※取り付け後、リングがなめらかに回転する事を確認する事。
※リングの合口は、図のように120度間隔で取り付ける事。



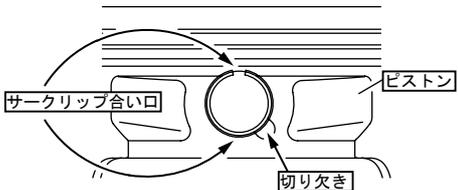
- ・片側のピストンピン穴のサークリップ溝にサークリップを取り付ける。
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けてピストン上下方向に向けて取り付け。



- ・コンロッド小端部、ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布しピストンピンにモリブデングリスを塗布しピストン頭部にある“IN”マークをインテーク側に向け、ピストンピンを取り付ける。

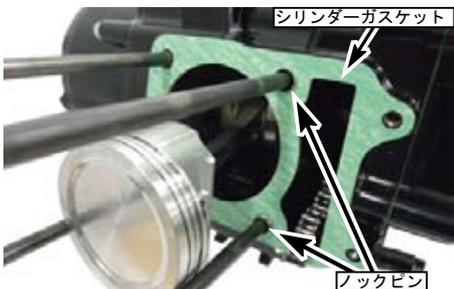


- ・ピストンピンサークリップ溝にピストンピンサークリップを取り付ける。
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けてピストン上下方向に向けて取り付ける。



●シリンダーの取り付け

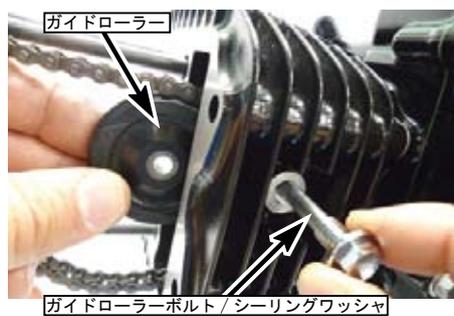
- ・クランクケースのシリンダー取り付け面を清掃し、クランクケース開口部につめていたウエスを取り外しておく。
- ・クランクケースにノックピン2個とキット内の新品のシリンダーガスケットを取り付ける。



- ・ピストンリング部にエンジンオイルを塗布し、なじませる。シリンダー内周部を清掃した後にエンジンオイルを塗布する。カムチェーンをシリンダーに通し、ピストンリングを指で圧縮しながらシリンダーを取り付ける。



- ・ガイドローラーをシリンダーの取り付け穴に合わせ、ガイドローラーボルト/新品のシーリングワッシャを仮止めしておく。

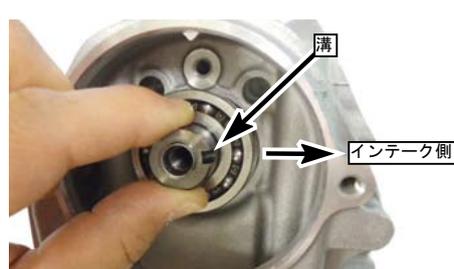


●カムシャフトの取り外し

- ・ボルトを取り外し、セットプレートを取り外す。ロッカーアームシャフト、ロッカーアーム、ニードルベアリングを取り外す。



- ・カムシャフトの溝をインテーク側に向け、シリンダーヘッドから取り外す。



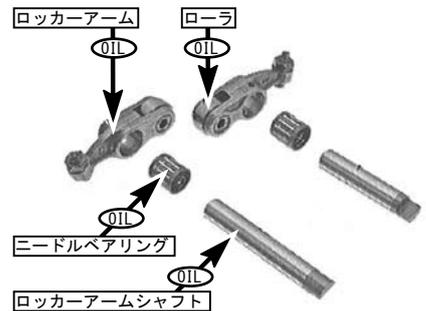
●カムシャフトの取り付け

- ・キットのカムシャフトのカム摺動部、ベアリングにエンジンオイルを塗布する。

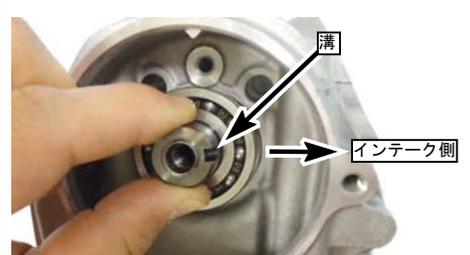


- ・ロッカーアームシャフトの摺動部とニードルベアリングにエンジンオイルを塗布する。ロッカーアームの内面とローラの摺動部にエンジンオイルを塗布する。

※エキゾーストロッカーアームシャフトはインテークロッカーアームよりも長い。



- ・カムシャフトの溝をインテーク側に向け、シリンダーヘッドから取り付ける。

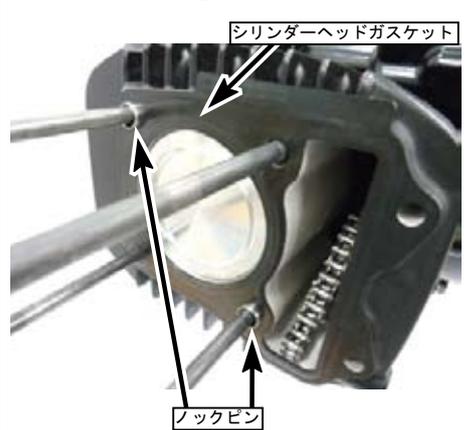


- ・ロッカーアーム、ニードルベアリング、ロッカーアームシャフトをシリンダーヘッド内に取り付ける。

- ・セットプレートの“OUT”マークを外側にしてシリンダーヘッドにセットし、ボルト1本にて仮止めする。

●シリンダーヘッドの取り付け

- ・シリンダーとシリンダーヘッドの合わせ面を清掃する。ノックピン、キット内のシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付ける。



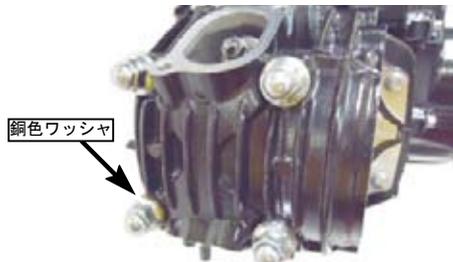
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

- ・カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付ける。



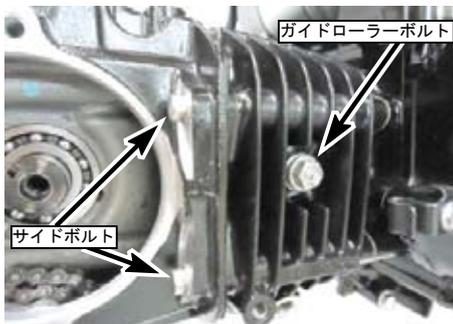
- ・銅色のワッシャをヘッドに向かって左下に、他の銀色のワッシャ3個もセットし、シリンダーヘッドナット4個、シリンダーヘッドのサイドボルト2本を取り付ける。
- ・シリンダーヘッドナット4個を対角に数回に分けて締め付け、規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
シリンダーヘッドナット
トルク：24N・m (2.4kgf・m)



- ・シリンダーヘッドのサイドボルト2本を交互に数回に分けて締め付け、規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
サイドボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



- ・仮止めしていたシリンダーのガイドローラーボルトを規定トルクにて締め付ける。

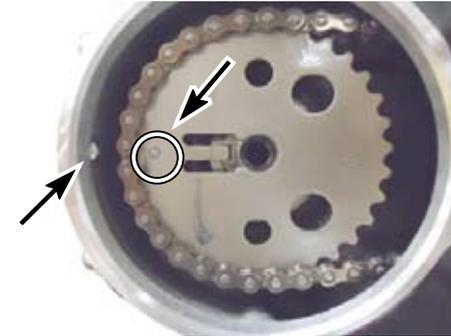
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ガイドローラーボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

- ・仮止めしていたカムシャフトのセットプレートのボルトを規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



- ・フライホイールの“T”マークがジェネレータカバーの合わせマークに合っているか確認し、カムスプロケットの“0”マークがシリンダーヘッドの突起と合うようにカムチェーンを付け、カムシャフトの溝にカムスプロケットの突起を合わせて取り付ける。



- ・ユニバーサルホルダーにてカムスプロケットを固定し、カムスプロケットのボルトを規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：27N・m (2.8kgf・m)



- ・クランクシャフトを反時計方向に2回転回し、フライホイールの“T”マークをジェネレータカバーの合わせマークに合わせ、カムスプロケットのタイミングマークがシリンダーヘッドの合わせマークと合っている事を確認する。

- ・ボルト穴にエンジンオイルを少量注入し、オイルフィルターボルトとシーリングワッシャを取り付け、規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
オイルフィルターボルト / シーリングワッシャ
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



オイルフィルターボルト / シーリングワッシャ

●バルブクリアランスの調整

- ・フライホイールの“T”マークがジェネレータカバーの合わせマークに合い、且つカムスプロケットの“0”マークがシリンダーヘッドの突起と合っている事を確認する。
- ・ロッカーアームのアジャストスクリューとバルブシステムエンドの間にシクネスゲージを差し込み、アジャストスクリューを締め込んでいき、シクネスゲージが少し抵抗がある程度に引き抜けるぐらいに合わせてアジャストナットを締め付ける。

バルブクリアランス

IN：0.10mm
EX：0.17mm

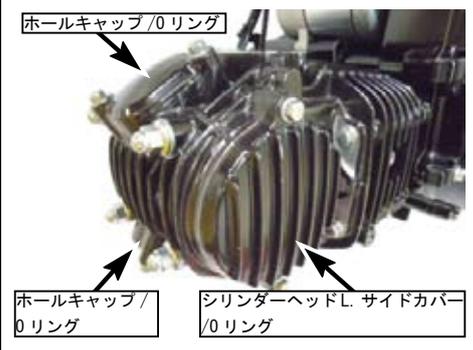
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
アジャストナット
トルク：9N・m (0.9kgf・m)



- ・バルブクリアランス調整後、反時計方向にフライホイールを2回転回した後で“T”マークとタイミングマークをそれぞれ合わせ、バルブクリアランスが変化していないか点検する。変化している場合は再度調整し、合うまでこの作業を繰り返す。

- ・シリンダーヘッドL. サイドカバー / Oリングをシリンダーヘッドに取り付け、ボルト2本を取り付ける。インテーク側、エキゾースト側それぞれのホールキャップ / Oリングをボルト各2本にて取り付ける。

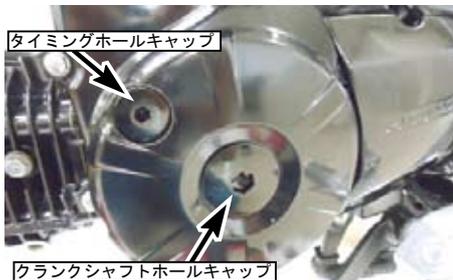
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

・タイミングホールキャップ及びクランクシャフトホールキャップにOリングが付いている事を確認して取り付け、規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
 タイミングホールキャップ
 トルク：6N・m (0.6kgf・m)
 クランクシャフトホールキャップ
 トルク：8N・m (0.8kgf・m)



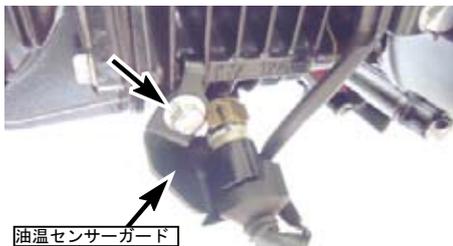
・油温センサー及びシーリングワッシャをシリンダーに取り付け、規定トルクにて締め付ける。油温センサーのカブラを接続する。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
 油温センサー / シーリングワッシャ
 トルク：15N・m (1.5kgf・m)



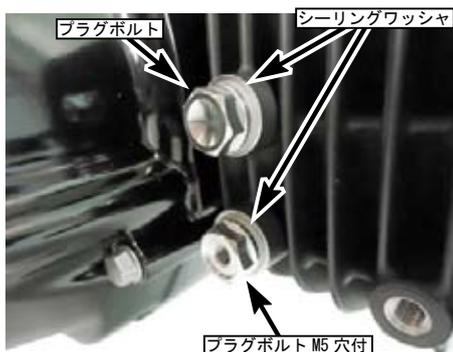
・油温センサーガードをボルト1本にてシリンダーに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
 ボルト
 トルク：12N・m (1.2kgf・m)



・付属のシリンダーのボス部2箇所にプラグボルト / シーリングワッシャを取り付ける。プラグボルト M5 穴付は、エンジン取り付け時に下側になるよう取り付ける。
 ※オイルクーラーキットを取り付ける場合は、そのキットの取扱説明書に従う事。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
 プラグボルト / シーリングワッシャ
 トルク：12N・m (1.2kgf・m)



・スパークプラグを取り付け、規定トルクにて締め付ける。スパークプラグキャップを取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
 スパークプラグ
 トルク：16N・m (1.6kgf・m)

●O₂ センサーの接続

・O₂ センサーの配線をワイヤリングし、カブラを接続する。



●エアクリーナーケース、インレットパイプ / スロットルボディの取り付け

※弊社製ビッグスロットルボディ取り付けの場合は、その取説に従い取り付け。

・スロットルケーブルをフレームにワイヤリングしながら、インレットパイプ / スロットルボディとインシュレーターをセットする。
 ※この時、インシュレーターの両側にOリングが付いている事を確認する事。また、インシュレーターのピンをシリンダーヘッド側に向ける事。



・ボルト2本にてインレットパイプをシリンダーヘッドに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
 ボルト
 トルク：12N・m (1.2kgf・m)



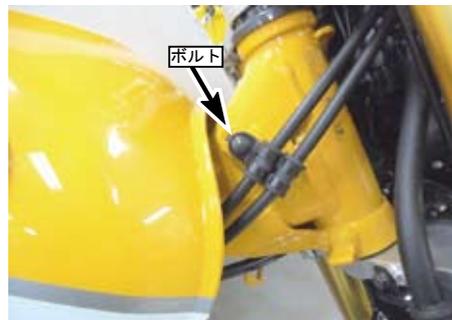
・スロットルドラムカバーをボルトワッシャにて取り付け。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
 ボルトワッシャ
 トルク：5.2N・m (0.5kgf・m)

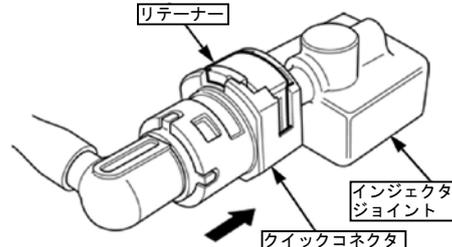


・スロットルケーブルをボルトにてフレームに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
 ボルト
 トルク：10N・m (1.0kgf・m)



・フューエルホースのクイックコネクタをインジェクタジョイントに接続する。
 ※リテーナから“カチッ”と音がし、確実にロックするまで差し込む事。

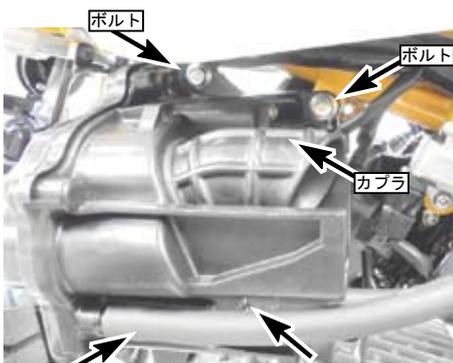
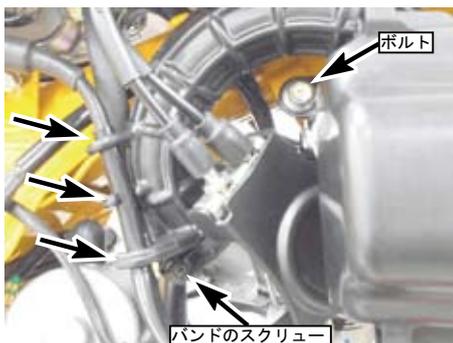


・スロットル開度センサー 3P カブラ、インジェクター 2P カブラ、ソレノイド 2P カブラ (タイモデルは除く) を接続する。インレットパイプのホースを接続する。



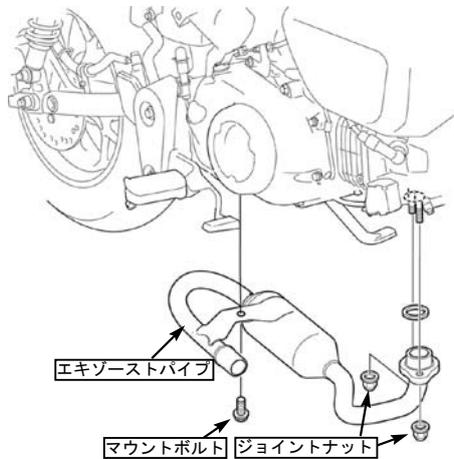
・ボスをグロメットに差し込みながらエアクリナーケースをセットする。コネクティングチューブをスロットルボディーに確実に差し込み、コネクティングチューブバンドのスクリューを締め付ける。エアクリナーケースをフレームにとめている3本のボルトを仮止めした後、規定トルクにて締め付ける。コネクティングチューブにハイテンションコードをセットする。クランクケースブリーザホースとフューエルブリーザホース、吸気温センサーのカブラを接続する（タイモデルは除く）。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
コネクティングチューブバンドのスクリュー
トルク：1.5N・m (0.15kgf・m)
エアクリナーケースのボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

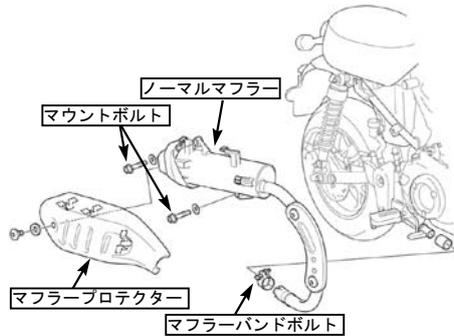


●（ノーマル）エキゾーストマフラーの取り付け

※エキゾーストマフラーが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取り扱い説明書に従う事。
・エキゾーストパイプをマウントボルトとジョイントナット2個にて仮止めする。



・ノーマルマフラーをエキゾーストパイプに差し込み、マウントボルト2本にて仮止めする。



・各部を規定トルクにて締め付ける。マフラープロテクターをボルトにて取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ジョイントナット
トルク：27N・m (2.8kgf・m)
エキゾーストパイプのマウントボルト
トルク：27N・m (2.8kgf・m)
ノーマルマフラーのマウントボルト
トルク：27N・m (2.8kgf・m)
マフラーバンドボルト
トルク：20N・m (2.0kgf・m)
マフラープロテクターのボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

●外装部品の取り付け

・純正サービスマニュアルを参考にして左右のガーニッシュを取り付ける。

●FI コン TYPE-e の設定

・FI コン TYPE-e の設定をその取扱説明書に従う。

●走行前の注意

- ・燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替える。
- ・各部を点検し、ネジやナット等の緩みがないか確認する。
- ・エンジンオイルが規定量入っているか確認する。
- ・風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動し暖気運転させる。

▲警告：必ず換気の良い場所でエンジンを始動させる事。

- ・エンジンからの異音や、各ガスケット部からのオイルもれがないか点検する。
- ・エンジンを切り、充分冷えた後で各部を点検し、ネジやナット等の緩みがないか再度点検する。